

三宅島特産園芸作物における生産振興技術対策

【研究概要】

三宅島の主要品目であるパッションフルーツの施設栽培においては、夏季における着色不良果の発生による品質低下が課題となっており、令和3（2021）年度に遮光率25～30%の資材による遮光処理が着色不良の発生抑制に一定の効果があることを確認した。今回、新たに遮光率35～40%の資材による着色不良の発生抑制効果を明らかにする試験を行った。

梅雨明け期からハウス上部の外側に、遮光率約35～40%の遮熱効果のある資材（ダイオ化成株式会社製クールホワイト520SW）を展張することで、収穫果に発生する着色不良果の割合が約1割抑制され、特に着色程度が低い果実の割合が減少する傾向が認められた。